

—produced by RSP Project —



SDH通信 創刊号

～コロナでも、SDHは元気です～

※SDH=湘南第一病院

～ 発行経緯 ～

“地域連携2.0～現場間のリレーションを高める～”ことを病院として掲げ、その企画実行部隊であるRSPプロジェクト（連携を・真剣に・プレイする）を中心に推進を図って参りました。

コロナ禍により、2ヶ月に1度の情報交換の場である、
当院主催の連携会も多分に漏れず自粛と判断をいたしました。

その結果、「今ご施設がどのような状況か分からない」
更に言うと、「ご利用者様の取り巻く環境などの情報が入ってこない！」
という事態が当院で発生いたしました。

同時に、ご施設からも「病院の状況が分からない」というお声を多く頂きました。

このような状況を鑑みて、私達プロジェクトメンバーはどうか“病院”と“施設”の
情報を繋ぐ方法はないものかと直ぐにミーティングを行い、一つの結論に至りました。

それがこの“SDH通信”です。

発行するにあたり、改めてご施設にヒアリングしたところ、
「新型コロナウイルスにご利用者様・職員が感染したらどうしたら良いのか」というお声を
多く頂いたことから、介護施設における情報の流通をめぐる深刻な現状が分かりました。

そこで今回の創刊号はその声にお応えして
「新型コロナウイルスにまつわるお話」を中心にお届け致します。

※COVID-19=新型コロナウイルス

～ 感染メカニズム ～

予断を許さない今日この頃
新型コロナウイルスとの共存を
求められる中“三密”という環境を
どのように捉えていますか？



“三密”という環境に対して過敏になりすぎていませんか？
三密はあくまでも感染リスクの高い環境条件であって、
必ずしも感染するというものではありません。
仮に環境が悪くても、自己管理をしっかり行うことで、
感染リスクの低下に努めましょう。

～ 湘南第一病院の取り組み ～

新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴い当院では
2月下旬から様々な取り組みを行って参りました。

当院の“今”を知って頂く事で、皆様に少しでもご安心して頂ければと、
取り組みの一部をご紹介します。

コロナ禍を何かの制限と捉えるのではなく、足元を見直すきっかけと捉え

「コロナがあってもなくても必要だったのではないか」

「もっと〇〇したらより良いのでは？」と日々ポジティブに取り組んでいます。

一 院内全体 一



【物品の確保】

マスク・ガウン・消毒液などの
医療物品の不足により、
創意工夫と節約が求められました。
物の大切さを改めて実感しています。



【検温の実施】

「院内に持ち込まない」ことを
徹底するため、出勤前と出勤後に
職員全員が必ず検温をしています。



【全館放送の実施】

職員全体の感染防止に
対する意識向上を目的に
1日3回定時で手指消毒と
換気を促す全館放送を
毎日継続しています。



【食堂スペースにおける3密の回避】

席を間引きしソーシャルディスタンスを確保。
また換気を行い、昼食時の3密を極力避けるよう努めています。



【日常業務における3密の回避】

1か所に密集しがちな部署では、
複数箇所に分かれて業務に当たることで、
集団感染の予防に努めています。



【消毒の徹底】

通常の消毒に加え、院内各部署で消毒回数を
増やし、消毒を徹底しています。

— 外来対応 —

【玄関口対応】

新型コロナウイルスの持ち込み・感染拡大防止対策として、全部署持ち回りのシフト制で出入口案内係を立て、来院される皆さまに来院目的のヒアリングと消毒・検温と問診をさせて頂いております。

来院される皆さま、日々ご協力いただき誠にありがとうございます！

【ゾーニング】

来院者と感染症疑いのある患者様との接触を極力避けるため、出入口や導線を分けてご案内しています。場所だけではなく時間的制限を設けることで、次々と来院される皆様を安全かつスムーズにご案内できるよう努めています。



【隔離対応】

感染症の疑いのある患者様には、専用の診察室での待機、診察、会計等にご協力を頂いています。医師・看護師をはじめ、対応者はフェイスシールドや手袋など感染予防対策を行い、診察後は室内・扉などの消毒を毎回行うことで、感染拡大リスクの回避に努めています。



【新型コロナウイルス対策 外来対応会議】

上記外来対応においては、毎週、各部署代表者による会議を開催し、振り返りと改善を重ねています。会議では、当事者意識を持って各部署出来ることを考え意見を出し合いながら、刻一刻と変わる情勢にも即時に適応出来るよう議論を重ねています。



— 病棟対応 —

【ユニットケア開始】

1つのフロアを1つのチームで対応する形式から、感染拡大防止の為、2つのユニットに分けて対応する形式を導入しました。



【デイルームにおける3密の回避】

患者様が密集することによる感染拡大のリスクを避けるため、一度の利用人数の上限を設け、離床時間を調整するなど工夫を施しました。



【階を跨ぐ移動の自粛】

転室やお買い物など、入院患者様のフロア間の移動を必要最低限に制限させて頂くことで、感染リスクの低減を図りました。

【面会・来客の制限】

外部からの新型コロナウイルスの持ち込みを防ぎ、入院患者様を感染のリスクから守るため、面会や来客の制限を設けると共に、必要なお家族様などには個別対応を実施しています。





～ 編集後記 ～

新型コロナウイルスの感染拡大が始まり、ご施設・一般患者様・近隣の方々から、一番お声を頂いたのが「湘南第一病院さん大丈夫ですか？」というご心配の声でした。

まずは一言、**「湘南第一病院は元気です！！」**

どれくらい元気かという、「湘南第一病院は皆様のご自宅より、よっぽど清潔で安心です」などと、ブラックジョークを言えるほど元気です(笑)

と言うのも当院では、医師の指示やトップの指示ではなく全部署で何度も話し合いを重ね、各部署で共有し、職員ひとりひとりの検温に始まり、ご覧頂いた以外にも感染対策を行っており、ご来院する皆様に安心して来院して頂ける環境をしっかりと整えています。

また発行経緯でもお伝えした「新型コロナウイルスに感染したら、どうしたら良いのか」というご施設からの多くのお声に対し、SDH通信の他に当院では「COVID-19 施設のご相談Q&A」というガイドラインを作成致しました。

このような時でも、当院を頼って下さる皆様に、少しでもお役に立つものになっていれば幸いです。

今後もSDH通信を通して、湘南第一病院から継続的にご施設の皆様に病院ならではの情報をお届けしていきます。



—by RSP Project —



湘南第一病院

〒252-0804

神奈川県藤沢市湘南台 1-19-7

0466-44-7111 (代表)

0466-44-7113 (地域連携部直通)

<http://shonan-daiichi.jp/>



Facebook



Instagram

皆様に安心してご来院していただけるよう、ホームページにて新型コロナウイルスについてのお知らせを毎日更新しています。